

『統合報告書 2024』2023年 GHG 排出量 (Scope1・2) 報告規準

■ 対象期間

2023年1月1日～12月31日

■ 対象範囲

ノーリツ鋼機及び連結子会社 (テイボー株式会社、泰宝制筆材料 (常熟) 有限公司、株式会社 soliton corporation、AlphaTheta 株式会社、AlphaTheta EMEA Limited、AlphaTheta (Shanghai) CO., Ltd.、PEAG, LLC dba JLab)

※経営支配力基準に基づく範囲

■ 報告対象ガス

エネルギー起源の CO₂ 及び非エネルギー起源の CO₂、CH₄ (メタン)、N₂O (一酸化二窒素)、HFC (ハイドロフルオロカーボン)

※2023年は HFC の排出実績なし

■ 算定方法

- ・ Scope1: 燃料使用量×温室効果ガス排出係数 (CO₂、CH₄、N₂O) *¹

*¹ エネルギー起源の CO₂ 排出係数は、環境省、経済産業省発行「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」(Ver4.9) に基づく係数を使用、非エネルギー起源 CO₂、CH₄、N₂O、HFC は同マニュアル Ver.5.0 に基づく係数を使用

- ・ Scope2: 電力使用量×CO₂ 排出係数*² (外部から購入した熱の利用なし)

*² 日本: 環境省により各年度に公表されている電気事業者別かつ契約メニュー別の最新係数を使用

海外: 各国政府により公表されている最新係数を使用 (中国: 生态环境部、国家统计局关于发布 2021 年电力二氧化碳排放因子的公告、UK: The UK Government GHG Conversion Factors for Company Reporting 2023、米国: Emission Factors for Greenhouse Gas Inventories (Last Modified: 12 September 2023))

購入した再生可能エネルギー (電力) については、CO₂ 排出係数をゼロとして算定

Scope2 排出量はマーケット基準で算定

- ・ 地球温暖化係数: IPCC 第 5 次評価報告書 (AR5) に基づく係数を使用